

授業研究会の成果と課題

〈成果〉

- ・教科横断をすることで、書く力を更に伸ばすことができた児童が多く見られた。
- ・リーフレットを書く相手をはっきりとさせることで、目的意識がしっかりとできた。
- ・思考ツールを活用することで、整理して書くことができていた。
- ・児童の意欲が以前よりも高まった。

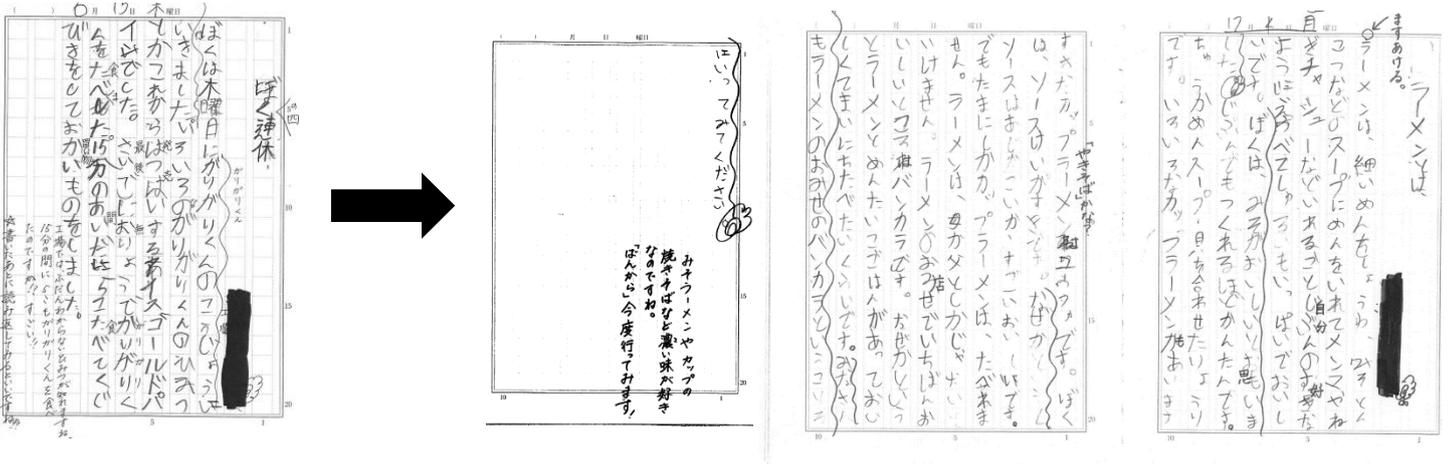
〈課題〉

- ・国語と総合的な学習の時間と繋げるよりも、国語と社会科で横断的に行うほうが無理なく行える。
- ・リーフレットを作る際に、手書き又はICTを使用するかを選べるようにしても良い。
- ・一人で作成するのではなく、グループで1冊を作成しても良かった。

1年間の成果と課題

日記

- ・繰り返し指導することで、「始めは1マス空ける」や日付を書くなど、日記の書き方については定着してきた。
- ・作文帳を使用したことで、原稿用紙の使い方を意識して書くことができるようになってきた。
- ・自分の思いや考えを文章で表現することができるようになってきた。
- ・日記のテーマや題材を工夫して書いたことで、自分の思いや意見を整理することができた。
- ・低学年から日記を続けているため、書くことへの抵抗は減っている。
- ・基本的な文章構成や書き方を理解できていない児童がいるため、簡単な文章で練習するなどの支援が必要である。



ICT 端末の活用

- ・紙と ICT を選択できるようにしたため、個別最適な学びにつながった。
- ・日頃から ICT を使うことによって、調べたりまとめたり発表したりすることができるようになった。
- ・数ある情報の中から、正しく情報を理解し選択することができていないため指導が必要である。

③学年の取り組みで特に効果的であったものについて

- ・書き方・表現方法の工夫…今まで学習したことを使って、行事の振り返りを詩で表したり、夏休みの思い出を俳句で表現したりすることができた。
- ・学習課題と正対したまとめ、振り返り…課題設定を工夫することで、自分の言葉でまとめを書くことができる児童が増えた。また、振り返りを書くことで次時に繋げることができた。

④今年度の研修について

- ・学んだことのアウトプットを、つながりを生かした指導のゴールに設定することによって、児童が相手意識を持って取り組み「書く」や「話し合う」などの言語活動が活発になった。
- ・地域の方々と出会い、自然に触れ合い、「地域のことを知る」ことができた。来年度に向けて、総合的な学習の時間の他の案も浮かびやすくなった。

しかし、・総合的な学習で、大堀川に何度も通うことが難しかったため、他の方法も考える必要がある。